



## 「ありがとう！25周年」 本年 10 月 19 日に骨髄バンクの移植が 2 万例に到達しました。

### 日本骨髄バンクの現状（平成 28 年 10 月末現在）

	9 月	10 月	現在数	累計数
ドナー登録者数	2,593	3,464	467,100	683,566
患者登録者数	247	237	3,048	49,379
移植例数	116	103	—	20,053

#### ■10 月年代別ドナー登録者数（現在数）

10 代	3,365 人
20 代	70,352 人
30 代	140,674 人
40 代	199,311 人
50 代	53,398 人

#### ■10 月の 20 歳未満の登録者 373 人

■10 月の区分別ドナー登録者数：献血ルーム／827 人、献血併行型集団登録会／2,459 人、集団登録会／119 人、その他／59 人

■10 月末までの末梢血幹細胞移植 (PBSCT) 累計数：236 件

注) 数値は速報値のため訂正されることがあります。

## 1 骨髄バンク推進月間報告

10 月の骨髄バンク推進月間に全国各地でドナー登録会やキャンペーンイベントが開催されました。

ドナー登録者数は 3,464 名で、昨年同月比 378 名増という結果でした。ドナー登録していただいた皆さま、ご協力いただいた関係者の皆さまに感謝申し上げます。また、11 月初旬にかけても様々なイベントが実施されましたので、その中から一部をご紹介します。

### ◆骨髄バンク啓発イベント（愛知県）

10 月 10 日（祝）に名古屋市東文化小劇場で、若年層に骨髄バンクを知っていただき、登録してもらおうと名古屋大学の学生等がボランティアと共にイベントを企画しました。同大学生、名古屋スクールオブミュージック専門学校の学生や地元のアーティストが出演し、進行や舞台発表はすべて同大学生が行いました。

### ◆骨髄バンク推進キャンペーン（京都府）

10 月 23 日（日）に、骨髄バンクを広く紹介し、協力を呼び掛けるイベント「京都市骨髄バンク推進キャンペーン in コトチカ広場」が開催されました。その中で、わくわくロックンロールバンド「ワタナベフラワー」と KBS 京都の遠藤奈美アナウンサーが出演するラジオ特別番組の公開生放送でドナー登録を呼びかけました。

### ◆骨髄バンク普及推進月間事業（広島県）

10 月 30 日（日）にイオンモール広島祇園で、ボランティア 32 名が参加してドナー登録会を行い、19 名の登録がありました。当日は、広島東洋カープのご協力により球団マスコット「スライリー」も登場し、子供連れの家族に好評でした。若い家族に骨髄バンクを知っていただく良い機会となりました。

## 2 7 市町でドナー助成制度スタート

骨髄バンクを介して骨髄または末梢血幹細胞を提供したドナーのための助成制度が新たに 7 市町でスタートしました。全国で導入している市区町村は 192 になります。助成内容は各自治体によって異なりますので直接お問い合わせください（当法人ホームページに問い合わせ一覧を掲載しています）。

#### 【新たに導入した自治体】

- 安中市（群馬県）
- 里庄町
- 津山市
- 美咲町
- 美作市
- 矢掛町（以上岡山県）
- 日田市（大分県）



## 3 今季もVリーグ試合会場でバンク支援がスタート

バレーボールの「2016/2017Vリーグ」が10月22日（土）に開幕しました。今季も全国の試合会場でCM放映や骨髄バンクのコートバナー掲示が行われ、骨髄バンク支援のVリーグ特製シールを配布しています。また、来年3月の決勝戦では、特設ブース開設などの骨髄バンクイベントを予定しています。

## 4 「卒業生・入学生向けチラシに関するアンケート」のお願い <地区普及広報委員の方へ>

当法人では若年層への広報活動の一環として、2007年度より高等学校の卒業生と短期大学・専門学校・大学の入学生を対象に、骨髄バンクへの理解とドナー登録の推進を目的としたチラシを配布しています。直接お声かけできる学校やご協力いただける機関等の情報がありましたら、地区普及広報委員の方は別紙アンケートにご記入のうえ、広報渉外部までFAXでお送りください。〆切：11月30日（水）まで。

## 5 「日本骨髄バンク NEWS」最新号 vol. 49 発行（予告）

12月7日に「日本骨髄バンク NEWS」最新号 vol. 49 を発行します。1991年12月18日は当法人の発足した日で、この日をもって設立25年を迎えます。その記念号として、9月17日に開催された全国大会「2万人のありがとう」をとりあげ、患者さん、ドナーさんからのありがとうのメッセージをお届けします。なお、今回は現住所の確認も兼ねてドナー登録者全員に郵送します。

## 6 当法人の会議等開催予定

◆会議の傍聴をご希望の方は、事前に当法人総務部までお申し込みください。

会議名	公開・非公開	開催予定
業務執行会議	公開・一部非公開	11月21日（月）17時半～19時半 廣瀬第2ビル地下会議室
業務執行会議	公開・一部非公開	12月19日（月）17時半～19時半 廣瀬第2ビル地下会議室

### コーディネーター関係者のコーナー

以下は、医師およびコーディネーターの皆さまを対象としています。

## 7 脂質系検査の導入および適格性判定基準変更について

末梢血幹細胞提供に向けた確認検査時に実施している総コレステロール検査結果が要検討となった場合は、確認検査時の残検体を用いて追加検査を実施してきましたが、コーディネーター期間短縮の観点から、追加検査を廃止すると共に新たな基準を策定し、骨髄採取術を含むすべてのドナーの方に脂質系検査を導入することにしました。

これに伴い、脂質系検査の適格性判定基準を改定しました。詳細は別紙をご確認ください。

## 8 自己血貯血用冷蔵庫内の温度上昇により自己血が使用不能となった事象について 【結果報告】 <採取施設の医師の方へ>

当法人のドナー安全委員会は、標記の件について再発防止の観点から原因等について調査・検討を重ねた結果、対策を講ずることとしました。詳細は別紙をご確認のうえ、ご対応をお願いします。

## 9 患者確認検査の省略可能拡大について【NGS 法追加】 <登録・移植施設の方へ>

造血幹細胞提供支援機関HLA委員会（日本赤十字社）では、非血縁者間造血幹細胞移植におけるより良いHLA検査方法について継続的に検討されています。この度、現行のSBT法よりもさらに解像度が高い検査法（NGS法）についての検証がなされました。その検証をもとに当法人の医療委員会で審議した結果、NGS法による検査結果を承認することとしました。下記の2施設によるNGS法検査結果をもって登録された患者は、登録後に改めての患者確認検査（SBT法）は不要となります。

なお、この場合でも検体の取り違い等がないことを確認するために、本人確認検査（HLA-A, B 座のみ）の実施は必要です（現行の SBT 法での運用通り）。

- ◆NGS法検査結果での登録受付可能な施設：公益財団法人 HLA研究所、ジェノダイブファーマ株式会社
- ◆運用開始日：11月15日（火）患者登録受付から

## 10 術前健診におけるドナー不規則抗体検査導入について <採取・移植施設の方へ>

移植施設から「移植の安全性を高めるための有用な措置として不規則抗体検査を必須化してはどうか」との意見が寄せられ、当法人（ドナー安全委員会/医療委員会）で検討しました。

その結果、患者およびドナーの安全（万が一同種血輸血が必要となった場合、迅速に対応できる）の観点から、また、多くの施設ではすでに当該検査を実施していることから、術前健診時にこれを実施することとしました。詳細は別紙をご参照ください。

## 11 DLI 全血採血量の変更について <採取・移植施設の方へ>

移植施設から現行の 200ml 上限の DLI 全血採血量をドナーの安全の範囲で 400ml まで可能とする要望があり、当法人（ドナー安全委員会/医療委員会）で検討しました。その結果、一律 200ml ではなくドナーの安全の範囲で献血基準に準拠し、移植施設から要望があった場合には 400ml まで可能とすることとしました。詳細は別紙をご確認のうえ、ご対応をお願いします。

## 12 ドナー適格性判定基準の変更について

以下の項目についてドナー適格性判定基準を変更します。詳細は別紙をご参照ください。

- ・【腎・尿路疾患、水電解質異常】 尿検査（尿沈渣）



### 13 福田班アンケートへのご協力御礼

「骨髄バンクコーディネーター期間の短縮とドナープールの質向上による造血幹細胞移植の最適な機会提供に関する研究」におけるコーディネーターの実態調査のためのアンケートにつきましては、回答にご協力くださりありがとうございました。最終的な回答数は、医師・HCTC、バンクコーディネーター、JMDP 職員あわせて 722 名となりました。

皆様からお寄せいただいた貴重なご意見は今後、福田班にて解析され、まとめられます。集計結果が公表されましたら当法人ホームページでもご案内させていただく予定です。

### 14 コーディネーターの認定・委嘱更新手続きについて <コーディネーターの方へ>

2017 年 3 月末で認定・委嘱期間が満了となることに伴い、更新の審査手続きを開始します。コーディネーターの方には、小論文と自己申告書を提出いただく予定です（ともに 12 月 26 日（月）ドナー部必着）。今月下旬、今後のスケジュールや提出物などについての詳細なご案内をお送りしますので、よろしくをお願いします。

### 15 連絡事項 <コーディネーターの方へ>

#### ◆年末年始の確認検査・再検査実施とSRL予約について

ドナーがすでにHLA (DNA) の情報を持っているか否かにより、対応が異なります。どちらに該当するかは地区事務局から申し送りますので、それに従って日程調整をお願いします。

<年末> ①確認検査（検査項目：一般血液検査とHLA ビーズ法）⇒ 12月26日（月）採血分まで

②確認検査（検査項目：一般血液検査のみ）・再検査 ⇒ 12月28日（水）採血分まで

<年始> ①確認検査、再検査 ⇒ 1月5日（木）採血分から

<SRL の予約> 1月5日、6日に採血希望の場合は、12月26日（月）14：00 まで。

#### ◆ブラッシュアップ研修会・グループ討議結果集計について

第21回コーディネーターブラッシュアップ研修会のグループ討議結果を集計しましたので、今号のマンスリーJMDPに同封してお送りします。

#### ◆開始シートでの「日本骨髄バンクNEWS」発行のご案内

本年7月より開始シートに「『骨髄バンクNEWS』についてのお知らせ」を掲載していますが、12月以降も継続して掲載することとします。